



その子“らしさ”を 大切にするために

アンコンシャス・バイアス

ってなに？

はじめに



子どもたちが大きくなるにつれて、保育園や幼稚園に通い始めるなど、家族以外にも多くの人とのかかわりが増えることで、自分たちの世界が大きく広がっていきます。多くのお友達や大人との出会いは、自分とは異なるさまざまな価値観との出会いでもあります。子どもたちの中には、「私とあの子は好きなものが違うな」「みんなと違うとおかしいのかな」と、不安になることがあるかもしれません。

子どもたちがそうした不安を抱えた時、周りの大人はどのように接したらよいのでしょうか？ 子どもたちが個性や可能性、多様な考え方を育むことを妨げてしまうことがないように、子どもたちと一緒に考えてみませんか？



あなたはこう答える？

ピンクは 女の子の色!?



あなたは どう答える？

男の子は 泣いちゃダメ!?



どうして
「男の子は泣いちゃダメ」
なの？



あなたはこう答える？

女の子が パイロットになるのは 難しい!の!?



どうして
「女の子がパイロットに
なるのは難しい」の?



アンコンシャス・バイアスは、 無意識の思い込み

アンコンシャス・バイアスは、これまでの経験や育った環境から、自分では気づかないうちに抱えている思い込みのことをいいます。これは誰もが持っているもので、あること自体は悪いことではありません。しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかないでいると、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまったり、自分や相手の可能性を狭めてしまう場合があります。まずは、アンコンシャス・バイアスそのものを知ること、気づくことが大切です。



さまざまなアンコンシャス・バイアスがあります

女らしさ・男らしさではなく “自分らしさ” “あなたらしさ”を大切に

社会の中であつてつくられた「女らしさ」や「男らしさ」のイメージをジェンダーといい、アンコンシャス・バイアスの中でも「女性はこちらあるべき」「男性はこちらあるべき」という思い込みを「ジェンダー・バイアス」といいます。しかし近年、1人ひとりの顔や性格、価値観が違つてくつてきました。大切なのは、性別などの固定観念にとらわれず、1人ひとりの思いを尊重すること。ありのままを受け入れて、その子が持つ自分らしさを育みましょう。

アンコンシャス・バイアスで
子どもを傷つけないために





岐阜市 市民協働生活部 男女共生・生涯学習推進課

〒500-8701 岐阜市司町40番地1 TEL.058-214-4792

監修／朝日大学 法学部法学科 大野正博教授

制作／NPO法人 未来へのみち

発行／令和5年7月 改訂／令和8年3月



このパンフレットに
関するアンケートに
ご協力ください